平成21年 小平町成人式

と　き　平成21年１月11日（日）
　　午後１時30分より
ところ　文化交流センター
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
担　当　文化交流センター（金子）

第29回 子ども下の句カルタ大会

会場に足を運んで子ども達を応援してください。
と　き　平成21年１月18日（日）　午前９時より開会式
ところ　文化交流センター
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
担　当　文化交流センター（長澤）

小平郷土資料通信 No.41

北海道に残る弁財天信仰をたずねて　2
石狩弁天社

前回は、余市町の茂入神社の弁財天について紹介しました。茂入神社の事例は、弁天社の御祭神であった弁財天が神社にまつられている事例でした。元々は神仏を明確に区別することがなかった日本人でしたが、明治政府が神仏分離・神道優遇の政策をとったことによって、北海道では多くの弁天社が神社にかわっていきました。そうした名残を伝えるのが茂入神社の弁財天であり、臼谷稲荷神社の弁財天碑でした。

さて、神社にかわることもなく現在も江戸時代とかわらない信仰を伝えている弁天社が石狩市にあります。この「石狩弁天社」は、元禄７年（1694）松前藩士によって創建されました。その後、石狩場所を請け負った村山伝兵衛によって崇敬されました。この村山伝兵衛は、臼谷弁財天碑をたてた人物です。このことから考えても、臼谷に交易所・漁場を設けた伝兵衛が守護神として弁財天をまつった理由がわかるような気がします。石狩は、鮭の好漁場として早くから開かれ、幕末には遠く旭川など上川地方のアイヌも石狩川河口の漁場に集められ働いていました。

松浦武四郎の記録によると、石狩のアイヌの人々には、石狩川には川の主のチョウザメが住んでいるとの伝承がありました。また、村山家の言い伝えによると、ある時石狩川に鮭網をたてたところ、網が切られ鮭がにげてしまったそうです。そこで石狩川の主であるチョウザメ（鮫様）をまつったところ、網を切られることもなくなり大漁が続いたといいます。石狩弁天社には弁財天の外に、石狩川の主であるチョウザメを神格化した鮫様（妙亀・法鮫大明神像）が、現在もまつられています。この石狩弁天社の鮫様は平成19年３月、アイヌの伝承と和人の信仰が結びついた文化財として、北海道有形民俗文化財に指定されました。

石狩弁天社
周囲には村山家が寄進した石灯籠、狛犬、手水鉢（ちょうずばち）が多数ある。村山家が弁天社を大切にまつってきたことがわかる。

１月の古文書教室の予定
19日（月）に実施します。

図書室だより

- 開 館 日…火曜日～日曜日（祝日も開館しています。）
- 開館時間…午前10時～午後５時（正午から午後１時までは閉館）

◎『北海道立図書館所蔵・大量一括貸出本コーナー』（一般実用書100冊・一般読み物200冊・児童書100冊）を展示しています。是非ご利用下さい。

12月の新着図書を紹介します

ジャンル		書　名	著　者／出版者
一般書	文学・小説	雪	高橋治著／集英社
		悼む人	天童荒太著／文藝春秋
		イノセント・ゲリラの祝祭	海堂尊著／宝島社
		配達されたい私たち	一色伸幸著／小学館
	育児	うちの３姉妹　№１～７	松本ぷりっつ著/主婦の友社
	園芸	上野さんの庭しごと	上野砂由紀著/エイジー武蔵
児童書	絵本	チョコだるま	真珠まりこ作/ほるぷ出版
		アンパンマンとブックマン（おはなしるんるん）	やなせたかし作／フレーベル館
		しりとり遊び（写真であそぼ①～③）	星川ひろ子・星川治雄著／小学館
		ママと赤ちゃんの食べものの絵本（①～⑥）	真木文・石倉ヒロユキ作/岩崎書店
		いろいきてる！	元永定正絵/福音館書店

PICK UP 新着の中から

悼む人（いた）

天童　荒太（てんどう・あらた）著
全国を放浪し、死者を悼む旅を続ける坂築静人。彼を巡り、夫を殺した女、人間不信の雑誌記者、末期癌の母らのドラマが繰り広げられる。聖者なのか、偽善者か？「悼む人」は、誰なのか？７年の歳月を費やした長編小説。

チョコだるま

真珠まりこ（しんじゅ・まりこ）著
チョコレートでできた雪だるまのチョコだるまは、マルタさんのお店の人気者。ホットチョコレートを飲みに来るお客さんを眺めるのが大好きです。ある日、お金持ちがチョコだるまを買いたいと言っていきて…。心あたたまる絵本。

社会教育だよりの記事に対する申込み・問い合わせ先
文化交流センター（TEL 56－9500　FAX 56－9555）　海洋センター（TEL/FAX 59－1216）